

1 観光振興と地域活性化・無形文化財の伝承

鞆の浦漁業協同組合組合長 羽田幸三

○観光鯛網事業

観光鯛網事業は、1923年（大正12年）に第1回を開催し、太平洋戦争による中断を経て1949年（昭和24年）に再開する等、福山における春の風物詩として定着しているが、一昨年、昨年には新型コロナウイルス感染症の拡大により中止した。

本年は、開催期間及び回数及び観覧者数を縮小し、感染対策を施したうえで、第91回目の開催を行った。

歴史的な景観と住民の利便性のための開発のいずれを優先するなかで広範な議論が起きた鞆の浦において、継続的に観光鯛網事業を開催することにより、鞆の浦住民の一体感の醸成と、伝統ある「鞆の浦鯛しばり漁法」の保存・伝承に努めている（平成27年福山市無形文化財指定）。

様々な構成要素が人情味豊かな伝統文化を息づかせているこの港町は、2018年（平成30年）に日本遺産に認定されるなど、日本有数の景勝地としての認知が進むとともに、県・市・住民の協働で道路・港湾整備等のまちづくりが進んでいる。

しかし、観光鯛網の担い手は、高齢化に加え、水産業の不振を背景にした漁業従事者の減少により、今後の持続的開催が困難な状況にある。今後は、広く鯛網事業に参加し、伝統文化を理解し後世に繋げていく新たな担い手を組織化（「鞆の浦鯛網くらぶ」会員募集）していく。

観光鯛網実施実績

	2019年度（令和元年度）	2022年度（令和4年度）
開催日数	26日間	5日間
開催回数	34回	5回
観覧者数 （1開催あたり）	7,690人 （226人）	443人 （88人）



2 観光客誘致による地域経済の活性化

福山ホテル旅館組合 組合長 住田憲壮（ビジネスイン福山）
福山ホテル支配人会 会長 河村博文（福山プラザホテル）

○コンベンション振興

福山ならではの魅力を活かした MICE 誘致を積極的に行い、地域経済の活性化及び産業文化の向上並びに都市観光の発展に取り組む必要がある。

- ・福山ならではの魅力あるユニークメニューの開発
- ・各種関連団体への営業

○観光客誘致のための環境整備

福山市のホテル宿泊者は、約8割がビジネス使用（出張）であり、観光客の受入・おもてなしに関するインフラやマインドが不足している。

今後は、観光客の受入、特に2025福山世界バラ会議福山大会開催や大阪関西万博に来日したインバウンド観光客の受入のため、官民ともに環境整備に着手する必要がある。

- ・飲食店のメニュー、宿泊施設・観光地の案内表示の多言語化
- ・障がい者用トイレ、公衆トイレ等のマップ
- ・観光・宿泊事業者・各地ガイドのおもてなし・インバウンド対応研修
- ・宿泊施設・観光地・飲食店のデジタル化（フリーWiFi 整備等）
- ・省エネ対策（EV ポート設置、客室の空調・照明制御システム導入）
- ・快適な宿泊施設への改良整備（海外富裕層向け）
- ・国内外のお客様が満足する魅力的コンテンツの開発
- ・福山城の利活用の促進、売店、茶店など施設の充実、活用情報の共有・発信
- ・ナイトタイムエコノミー（夜ならではの体験・消費活動）による宿泊者の増（チームラボ「光の祭」宿泊セット販売、「福山夜店」の充実・全国への発信）
- ・スポーツ関連施設の利活用



天守閣前広場における実証実験



月見櫓における実証実験

3 地域資源の磨き上げ・商品化

新市町観光協会 会長 青木勝之
事務局長 脇安秀明

○素盞鳴神社祇園祭「けんか神輿」における有料観覧席設置

素盞鳴神社は、679年天武天皇の時代に創建。素盞鳴尊を主祭神としてまつり、平安時代中期から祇園祭が始まったといわれている。祇園祭は京都の祇園祭をはじめ、博多祇園山笠など全国各地に広がっているが、その発祥はこの素盞鳴神社とされている。

千年以上続く素盞鳴神社祇園祭は、歴史と伝統がある上、大勢の参拝客で賑わっており、特に祭の最終日の夜には、三体の神輿が集まり、勇壮な神輿合わせ『けんか神輿』が繰り広げられ、その勇壮な姿で有名である。

コロナ禍で2年中止したが、本年は祭開催内容及び時間を縮小し、参拝者全員の手指消毒、神輿の担ぎ手全員の抗原検査を実施する等の感染対策を施し、3年ぶりに開催した。

新市町観光協会は、この『けんか神輿』を祭り（地域資源）の商品化実証事業として、有料観覧席を設置・販売（チケットぴあ）したところ、1週間で完売した。

また、マスコミを含め反響が大きく、今後も優良な地域コンテンツとして商品化（自走化）を目指している。

有料観覧席設置事業

販売席数	84席
販売料金	3,000円/席
有料観客	県内72人（市内56人、市外28人）、県外12人
総事業費	約195万円 （工事費113万円、広告宣伝費56万円、その他26万円）

